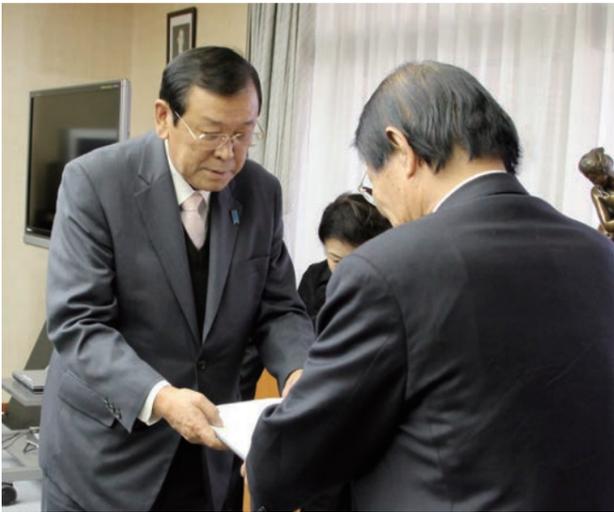


### 10年後に向けたまちづくりの指針 第五次美浜町総合振興計画を策定



↑第五次美浜町総合計画を答申する北村会長

■お問い合わせ先  
町企画政策課(担当・山本知也)  
☎32-6701

1月30日に、美浜町総合振興計画審議会の北村晋会長から山口町長に「第五次美浜町総合振興計画(基本構想・基本計画)案」が答申されました。本計画は、平成28年度から10年間のまちづくりの基本的な指針となるもので、「みんなで創り、絆ぎ集う美し美浜」を町の将来像に掲げ、6つの基本目標と、目標達成のための基本政策や数値目標を定めています。また、町民と行政が更に協働でまちづくりを進めていく計画とするた

め、町民、地域、団体等がそれぞれできることを施策ごとに示しています。本計画の検討にあたっては、各種団体等の代表で構成される審議会をはじめ、まちづくりに関心のある町民で構成される「はあとふる37委員」等多くの町民の参画を経て、まとめてきました。答申を受けた山口町長は、「協働のまちづくりを更に進めるとともに、特に、人口減少対策への対応にしっかりと取り組んでいきたい」と述べました。

#### 6つの基本目標

- ①未来をひらき人と文化を育むまち
- ②健やかでぬくもりのまち
- ③活気とにぎわいのあるまち
- ④豊かな自然環境と心安らぐまち
- ⑤快適で安全安心なまち
- ⑥みんなで築く協働のまち

### 人口減少対策に取り組むための総合戦略 美浜創生総合戦略を策定



↑美浜創生総合戦略の策定を報告する軍場会長

■お問い合わせ先  
町美浜創生・人口減少対策室(担当・西野)  
☎32-6715

12月3日に、美浜創生総合戦略会議の軍場保幸会長から山口町長に「美浜創生総合戦略」の策定が報告されました。本戦略は、国が掲げる「地方創生」に基づき、町の人口減少対策に取り組むための目標や人口ビジョンをまとめたものです。国立社会保障・人口問題研究所によると、町の人口は2040年に7,176人になり、2040年以降は減少が予測されています。この予測を踏まえ、本戦略では、2040年の目

標人口を7,900人に設定し、今後5年間における4つの基本目標と、目標ごとの具体的な施策や数値目標を定めました。策定にあたっては、産官学金労言の各分野から委員の参画を得て、今年6月に設置した「美浜創生総合戦略会議」において、審議されました。軍場会長は、「熱心に議論を重ね、委員からいただいた積極的な意見を、本戦略に反映させることができたと考えている」と話されました。

#### 4つの基本目標

- ①産業振興としごとの創出
- ②美浜の希望を繋ぐ「ひと」の流れを構築
- ③若い世代の結婚と出産・子育て支援
- ④美浜を育てる「地域づくり・地域間連携」と「安心な暮らしづくり」

## 秋山 省治氏 瑞宝単光章を受章



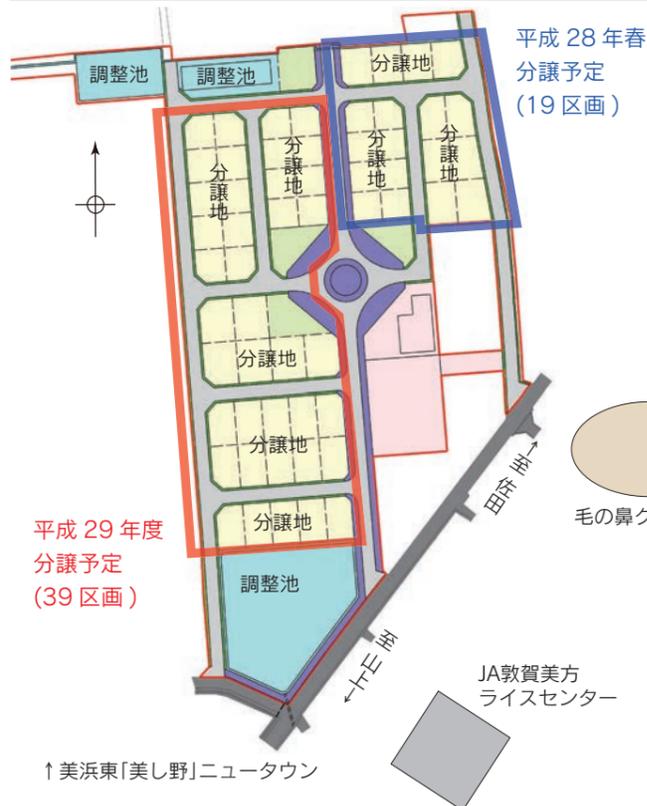
秋山 省治氏(佐野)

1月3日に、長年にわたり消防団員として貢献された功績が称えられ、秋山省治さん(佐野)が瑞宝単光章を受章されました。秋山さんは、昭和44年に美浜町消防団(後の敦賀美浜消防組合美浜消防団)に入団され、火災をはじめとする数多くの災害に出動し、被害の軽減に努められました。また、平成23年から2年間、美浜消防団長を務められ、消防団員の技術向上や自主防災組織への参加呼び掛けのほか、敦賀美浜消防組合で初(平成23年4

月1日付け)となる女性活動班員8人の任用等に尽力されました。受章については、秋山さんは「今回の受章は身に余る光栄です。消防活動は決して華々しいものではありませんが、地域に住む者の義務として、また、災害時には被災され困っている人がいることを忘れず、慎ましく地道に活動してきました。活動を認めていただいたのは、先輩団員からの教えや、同僚・後輩の応援があったからであり、大変感謝しています。」と話されていました。

### 「山上住宅団地(仮称)」の名称が 「美浜東『美し野』ニュータウン」に決定

■お問い合わせ先  
町美浜創生・人口減少対策室(担当・西野)  
☎32-6715



10月1日から30日にかけて募集していた「山上住宅団地(仮称)」の名称が、「美浜東『美し野』ニュータウン」に決定しました。この団地は、将来を担う若者や子育て世代の定住・移住を促進し、人口減少に歯止めをかけるため、町が整備を進めているものです。町では、本団地を町内外の方へ広くPRしていくため、親しみやすく美浜らしい名称を募集したところ、全国から22人

・47点の応募があり、審査の結果、吉田慶嗣さん(秋田県秋田市)の作品が選ばれました。吉田さんは、将来を担う世代の定住促進を図る本団地は、まさに「美し美浜」の将来を映し出すような団地である、という意味を込めて命名されました。今後は、団地の整備を進めるとともに、平成28年春から第一期分譲を開始します。

**所得税等の確定申告をお願いします**

■ お問い合わせ先  
敦賀税務署 ☎ 22-1010

**申告と納税は期限内に！**

確定申告をする必要のある方が、期限内に申告・納税をしなかった場合、不足する税金だけでなく、加算税や延滞税も納めていただくことがあります。

**申告と納税の期限**

- ・所得税及び復興特別所得税並びに贈与税
- ・平成28年3月15日(火)
- ・消費税及び地方消費税
- ・平成28年3月31日(木)

※申告所得税等の納付には、「振替納税」が便利です。



**敦賀税務署の申告相談会場は平成28年2月8日(月)から！**

敦賀税務署の申告相談会場(4階)の開設日は、平成28年2月8日(月)です。また、受付時間は、午前9時から午後4時です。

※会場の混雑状況により、午後4時前であっても受付を終了する場合があります。

**「電話相談センター」、  
「タックスアンサー」をご利用ください！**

**電話相談センター**

①確定申告に関するご質問・ご相談(平成28年1月18日(月)～3月15日(火))

敦賀税務署の代表電話(22-1010)に電話し、自動音声案内に従い「0」を選択してください。

**「タックスアンサー」**

敦賀税務署の代表電話(22-1010)に電話し、自動音声案内に従い「1」を選択してください。

②所得税や相続税のしくみ等、国税に関する一般的なご質問・ご相談

国税庁ホームページ「タックスアンサー」では、税に関する身近な情報をお届けしています。携帯電話からも接続可能です。

HP <http://www.nta.go.jp/taxanswer>

**ネットから便利!! 確定申告**

国税庁ホームページの

[www.nta.go.jp](http://www.nta.go.jp)  
「確定申告書等作成コーナー」で「申告書」を作成してください!

**メリット**

- ①24時間いつでも利用可能です。
- ②税務署に行く必要がありません。
- ③自動計算されるので、計算間違いがありません。
- ④データを保存すれば、いつでも作業を再開できます。
- ⑤保存したデータは翌年以降も利用できます。

**ホームページで  
申告書が作成できます**

税務署では、国税庁のホームページを活用した申告書の作成と、「e-Tax(国税電子申告・納税システム)」の利用を推進しています。

国税庁ホームページの「確定申告書等作成コーナー」では、画面の案内に従って金額等を入力すれば税額等が自動計算され、所得税及び復興特別所得税、贈与税、消費税の申告書や青色申告決算書等が作成できます。

同コーナーからそのまま「e-Tax」を利用して税務署に送信できるほか、自宅のプリンタで印刷して郵送し税務署へ提出することもできます。

※「e-Tax」を利用して送信するには、電子証明書(個人番号カード等)の取得やICカードリーダーライターの購入等の事前準備が必要です。

与税、消費税の申告書や青色申告決算書等が作成できます。

申告書等を作成した後は、同コーナーからそのまま「e-Tax」を利用して税務署に送信できるほか、自宅のプリンタで印刷して郵送し税務署へ提出することもできます。

第40回みどりの絵コンクールで **飯田勇人さん(美浜西小学校6年・久々子)が最優秀賞を受賞**

■ お問い合わせ先  
町学校教育課(担当・加茂) ☎ 32-6715

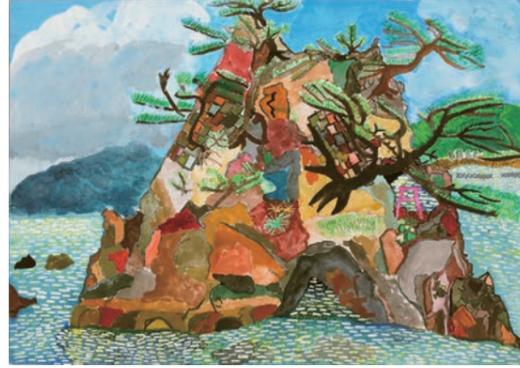


↑みどりの絵コンクールで最優秀賞に輝いた飯田勇人さん(左から3人目)

12月9日に、第40回みどりの絵コンクールで、最優秀賞を受賞された飯田勇人さんの受賞報告会が町役場で開かれました。

同コンクールは、三菱UFJ環境財団が主催するもので、全国2万4,612点の応募作品の中から9点が最優秀賞に選ばれ、飯田さんは、「わたしが守りたい身近な環境部門」で最優秀賞の「三菱東京UFJ銀行賞」を受賞されました。

飯田さんは、「美浜町は、日本一自然に恵まれた素晴らしい所です」と話され、山口町長は、「自然をしっかりと守っていかなくてはいけないということを、飯田君から改めて教えられた」と話されました。



↑受賞作品「初秋の海辺」



↑12月5日に東京で行われた表彰式で、賞状を受け取る飯田さん

**田邊義郎さん(久々子)が日本体育協会公認スポーツ指導者表彰を受賞**

■ お問い合わせ先  
町生涯学習課スポーツ振興室(担当・志賀) ☎ 32-6709



↑日本体育協会公認スポーツ指導者表彰で受賞された田邊義郎さん

12月12日に、日本体育協会が東京都内のホテルで開かれ、美浜町からは田邊義郎さんが表彰されました。

本表彰は、スポーツ指導や競技力向上に貢献した人に贈られ、今年度は、県内から4人の公認スポーツ指導者が表彰されました。

田邊さんは、ポートコーチとして長年選手を数多く育ててきた功績が認められ、受賞に至りました。

表彰を受け、田邊さんは、「約40年前に公認スポーツ指導者の資格を取得し、選手への指導を続けてきたことが認められ嬉しく思います。今後は、福井国体や東京オリンピックにおいて、福井県の選手に活躍してもらえようように尽力し、ポート競技の普及や底辺拡大にも力を入れ、子どもたちがポートに慣れ親しめるような取り組みを行っていきたいです」と話されました。